

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	令和7年4月1日
部局名	美甘振興局	部局長名	児玉 正裕
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
・共生社会の推進 住み慣れた地域で安心して暮らせる共生社会のまちづくり ・公共施設の活用検討の推進 公共施設の有効活用・あり方について検討を進める			
(2) 部局の重点施策			
1. 安心して暮らし続けることができる真庭	(1) 公共施設の有効活用・あり方について検討を進める (クリエイト菅谷 等) (2) 地域を支える各組織を継続支援・育成し、見守りや相談機能を充実する (愛育委員、食育推進ボランティア、健康づくり実行委員、民生委員、福祉委員 (社協) 等) (3) 持続可能な地域社会を実現するための基本となる健康づくりに、各団体等と連携を図りながら取り組む (まにこいんも有効活用し、実践者の拡大を図る)		
2. 支え合い、いきいきと誰もが活躍できる真庭	(1) 地域ぐるみで子どもの心豊かな育ちを支援 (2) 継続してきた地域振興の取組を人材育成につなげる (任意団体：MPOミカモノ) (3) 地域包括ケアシステムの推進 (「自助」「互助」へのアプローチを地道に行い、施策の浸透につなげる)		
(3) 事業成果目標			指標名及び目標値
●人口減少抑制対策 協働のまちづくりの推進 (再掲) 美甘地域では1月1日現在で高齢化率が55.0%を超えており、通院、買い物など移動が困難な方の交通手段の確保を始め、生活支援全般が課題となっています。 地域住民・団体等が主体となって課題解決へ取組めるよう推進します。 (地域ケア会議の開催や協議体の立ち上げによる協議等)			指標:課題検討会議
			目標値: 4 回
			(令和6年度実績値 : 3回)

●生ごみ資源化対策関連事業 生ごみ資源化推進事業 生ゴミの資源化及び正しいごみの分別が継続的に実施できるよう研修会・講習会を各地域団体に対して実施します。 （各種団体の会議・行事に合わせて研修会を実施）	指標:資源化事業研修会開催回数
	目標値: 8 回
	(令和 6 年度実績値 : 15回)
1-①公共施設の有効活用及び効率的運営の推進（クリエイト菅谷） 令和8年度以降のクリエイト菅谷のあり方について、広く民間等へ働きかけて多くの声を聴きながら検討し今後の方向性を決定していきます。	指標:サウンディング調査対象企業
	目標値:10社
	新規
1-②③健康づくりのための実践活動支援 高齢化率が高い美甘管内における持続可能な地域社会を実現するため、地域住民の健康づくりを目的として、元気な笑顔みかも21実行委員会や愛育委員会、食育推進ボランティア等が中心となって健康づくりのための活動の定着を図ります。 また、「集いの場」や「健康えがお教室（元気な笑顔みかも21実行委員会主催の運動教室）」等の活動の継続を支援し、参加住民の健康意識の向上に繋げていきます。	指標:健康えがお教室開催数
	目標値:15回
	(令和 6 年度実績値 : 19回)
2-①美甘の子どもたちの未来について一緒に考える 少子化や人口減少が進む中、美甘の宝である子どもたちがどんな子どもに育ってほしいかなどを、美甘こども園及び美甘小学校の保護者・地域住民・振興局と一緒に意見を出し合い、子どもの心豊かな育ちを支援するための機運の醸成を図ります。	指標:美甘の子どもたちの未来について考える会開催
	目標値: 1 回
	(令和 6 年度実績値 : 1 回)
2-②地域の強みを活かした地域振興 これからの美甘地域の振興を若い世代が中心に考え、自分たちがどう活かすかを、地域の意欲ある青壮年層や出身者等を中心に議論し、地域の「声」を「事」として行動できる体制、人材づくりに繋げていきます。 （地域づくり事業の企画運営 美甘の拠点づくりを議論）	指標:地域づくり事業企画会議
	目標値: 3 回
	(令和 6 年度実績値 : 1 回)
2-③協働のまちづくりの推進 美甘地域では1月1日現在で高齢化率が55.0%を超えており、通院、買い物など移動が困難な方の交通手段の確保を始め、生活支援全般が今後の課題となっていきます。 地域住民・団体等が主体となって課題解決へ取組めるよう推進します。 （地域ケア会議の開催や協議体の立ち上げによる協議等）	指標:課題検討会議
	目標値: 4 回
	(令和 6 年度実績値 : 3 回)